

2024年6月13日

## 大腿骨近位部骨折データベース参加のお願い及び 骨粗鬆症リエゾンサービスに関するご案内

大腿骨近位部骨折は、骨粗鬆症（骨密度が低下して骨がもろい状態）による脆弱性骨折です。これは高齢者の健康や活動性を奪う重大な疾患で、高齢化の進行する日本だけでなく世界的な規模での対策が求められています。

当院では骨粗鬆症リエゾンサービスを導入しており、これにより再骨折のリスク軽減が期待できます。

また当院では日本脆弱性骨折ネットワーク（FFN-J）中心となって進めている日本の大腿骨近位部骨折データベースプロジェクトに参加して、日本における大腿骨近位部骨折治療の状況や課題について検討する治療経過の登録を実施しています。本プロジェクトへのご協力をお願いいたします。

以下の内容を確認してください。

- このデータベース参加は公立富岡総合病院倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。
- 入院中の問診と退院後の外来受診または電話による聞き取りについて  
入院中及び退院後30日目、120日目、365日目の治療経過を確認するために当院の外来受診をしていただきます。受診が困難な場合は電話にて健康状態について聞き取りを行います。
- 骨粗鬆症リエゾンサービスについて  
骨粗鬆症の進行予防には薬物治療だけでなく転倒予防・運動予防・栄養指導が不可欠です。このサービスによって食事、運動習慣を見直し、必要に応じて骨粗鬆症治療薬を使用することによって再骨折のリスク軽減が期待できます。また骨折治癒後も継続的に検査を行い薬物治療を継続することが重要です。
- 個人情報の取扱いについて  
患者さん・ご家族に関する個人情報は当院にて厳重に管理されます。治療経過については個人が特定されない情報としてプロジェクト事務局や、学会発表などで使用することがありますが、プライバシーは厳格に守られます。
- その他  
同意をいただいて、その後不都合がある場合にはデータベース参加やサービスはいつでも中止することが可能で、その場合にも治療上不利益になることは一切ありません。

### 【問い合わせ先】

公立富岡総合病院 整形外科

TEL：0274-63-2111(代) FAX：0274-64-3377(代)